

人との関わりを基盤に
MISAWAの今と未来を
つくる人づくり

令和3年度
三沢市教育委員会の事務の点検
及び評価に関する報告書

《令和2年度の実績》

三沢市教育委員会

— 目 次 —

1	令和2年度教育委員会の活動状況	
(1)	教育委員会の構成	2
(2)	教育委員会会議審議案件	2～4
2	令和2年度三沢市教育委員会施策の方針	
(1)	「教育振興基本計画」の位置づけ	6
(2)	三沢市教育施策の方針	7
(3)	政策・施策の体系	8
(4)	教育委員会事務局機構図	9
3	教育委員会の事務の点検・評価	
(1)	趣旨	12
(2)	対象事業	12
(3)	学識経験者の知見の活用	12
(4)	点検・評価の方法	12
4	点検・評価結果	
I	夢や志を高くもち、可能性に挑戦する力を育てる学校教育	
	・【評価点検シート 施策No.1～No.7】	14～28
II	学校・家庭・地域をつなぎ、生涯学び、活躍できる環境づくり	
	・【評価点検シート 施策No.8～No.11】	29～37
III	心の豊かさと感動・元気を生み出す、文化・スポーツの振興	
	・【評価点検シート 施策No.12～No.16】	38～46
IV	安心して学び、多様な力を伸ばす教育基盤の整備	
	・【評価点検シート 施策No.17～No.22】	47～60

1 令和2年度教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の構成

(令和3年4月1日現在)

職名	氏名	任期	就任年月日
教育長	富田 敦	R2.12.21 ~ R5.12.20	H29.12.21
委員	立花 肇	H30.12.25 ~ R4.12.24	H26.12.25
委員	黒沢 のぞみ	H30.1.5 ~ R4.1.4	H30.1.5
委員	本江 宏	R1.12.27 ~ R5.12.26	H31.3.15
委員	松森 まゆみ	R3.1.5 ~ R7.1.4	R3.1.5

(2) 教育委員会会議審議案件

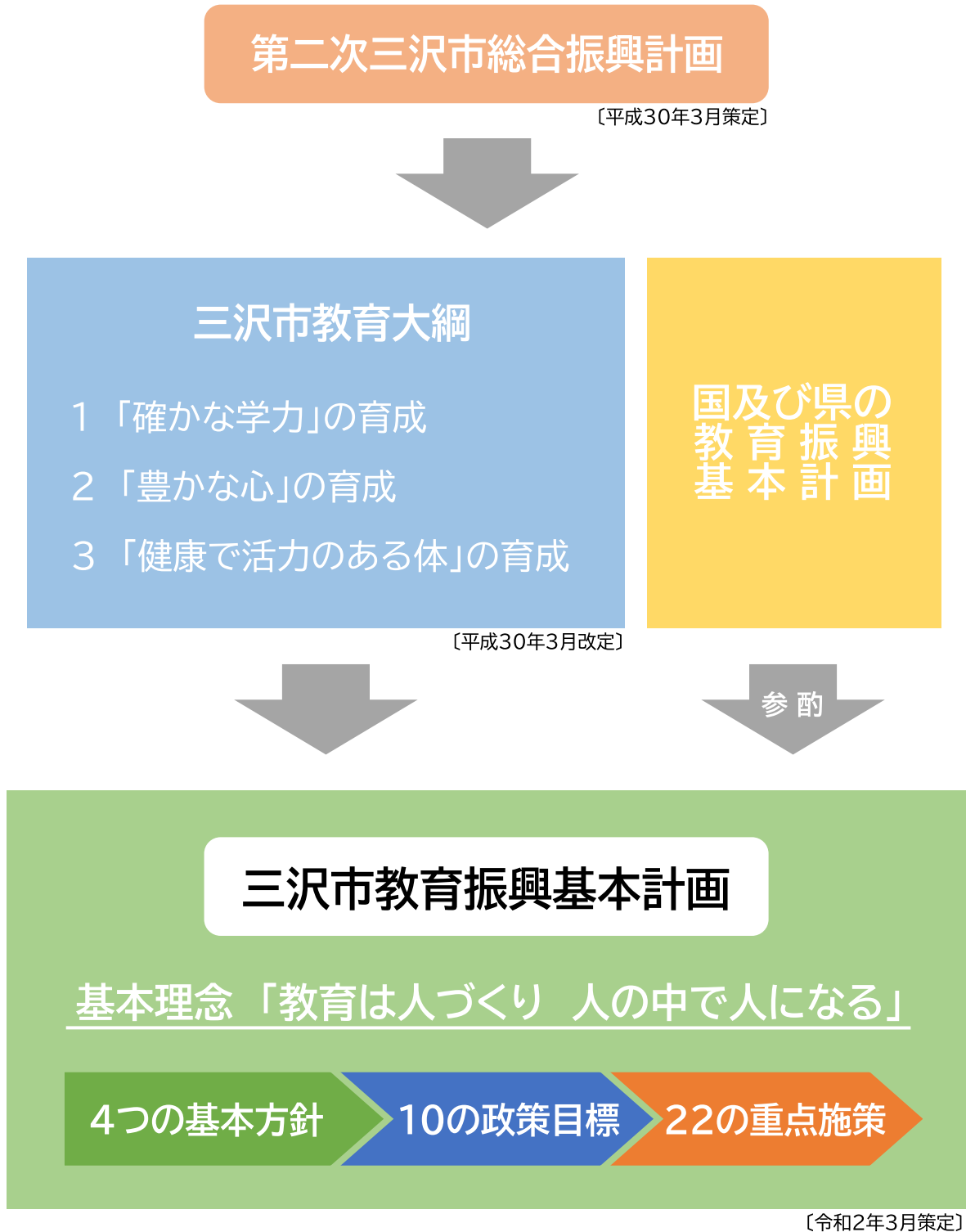
会議	議案及び報告事項
<p>定例会</p> <p>4月15日(水) 市役所別館4階 第1研修室</p>	<p>【案件】</p> <p>報告第1号 令和2年度教育委員会予算の概要及び事務分掌等について</p>
<p>定例会</p> <p>5月25日(月) 市役所本館4階 第2会議室</p>	<p>【案件】</p> <p>議案第1号 ふるさと三沢大学生等応援給付金交付要綱(案)の制定について</p> <p>報告第2号 令和3年度三沢市重点事業要望について(教育関係)</p> <p>報告第3号 三沢市奨学資金貸付条例の一部改正について</p> <p>報告第4号 給食費の無償化について</p> <p>報告第5号 教育長の主な活動報告(4月~5月)について</p>
<p>定例会</p> <p>6月26日(金) 市役所別館4階 第1研修室</p>	<p>【案件】</p> <p>報告第6号 令和2年三沢市議会第2回定例会について</p> <p>報告第7号 学校給食異物混入防止対策マニュアルの改正について</p>
<p>定例会</p> <p>7月27日(月) 市役所別館4階 第1研修室</p>	<p>【案件】</p> <p>議案第2号 令和3年度使用中学校教科用図書採択について</p> <p>議案第3号 令和2年度三沢市文化賞等表彰者の提案及び社会教育委員への諮問について</p> <p>報告第8号 GIGAスクール構想に向けた環境整備について</p> <p>報告第9号 教育長の主な活動報告(6月~7月)について</p>

会 議	議案及び報告事項
<p style="text-align: center;">定 例 会</p> <p>8月28日(金) 市役所別館4階 第1研修室</p>	<p>【案 件】 議案第4号 令和2年度三沢市文化賞等表彰候補者の選考について 報告第10号 三沢市いじめ防止対策審議会条例の一部改正について</p>
<p style="text-align: center;">定 例 会</p> <p>9月29日(火) 市役所別館4階 第1研修室</p>	<p>【案 件】 報告第11号 令和2年三沢市議会第3回定例会について 報告第12号 総務文教常任委員会所管事務調査について 報告第13号 教育長の主な活動報告(8月~9月)について</p>
<p style="text-align: center;">定 例 会</p> <p>10月27日(火) 市役所別館4階 第1研修室</p>	<p>【案 件】 議案第5号 三沢市立小学校及び中学校の職員の服務等に関する規程の一部を改正する規程の制定について 議案第6号 三沢市教育委員会学校における働き方改革プランの一部改正について 議案第7号 三沢市いじめ防止対策審議会委員の選任について 報告第14号 区域外就学認定基準及び他学区通学認定基準の見直しについて</p>
<p style="text-align: center;">定 例 会</p> <p>11月26日(木) 市役所別館4階 第1研修室</p>	<p>【案 件】 報告第15号 学校給食費滞納整理に関する事務取扱要項の一部改正について 報告第16号 教育長の主な活動報告(10月~11月)について</p>
<p style="text-align: center;">定 例 会</p> <p>12月23日(水) 市役所別館4階 第1研修室</p>	<p>【案 件】 報告第17号 令和2年三沢市議会第4回定例会について 報告第18号 令和3年度教育委員会主要事業に係る当初予算要求について 報告第19号 三沢市立図書館指定管理者の指定について 報告第20号 三沢市大空ひろば指定管理者の指定について</p>
<p style="text-align: center;">定 例 会</p> <p>1月26日(火) 市役所別館4階 第1研修室</p>	<p>【案 件】 報告第21号 令和2年度三沢市青少年文化優秀賞等表彰について 報告第22号 教育長の主な活動報告(12月~1月)について</p>
<p style="text-align: center;">定 例 会</p> <p>2月15日(月) 市役所別館4階 第1研修室</p>	<p>【案 件】 議案第8号 令和3年度教職員人事について 議案第9号 三沢市特別支援教育就学奨励費給付要綱の制定について 議案第10号 「三沢市成人式」の対象年齢等あり方検討委員会設置要綱の制定について 報告第23号 三沢市教育振興基本計画 令和2年度進捗状況について</p>

会 議	議案及び報告事項
<p>第1回臨時会</p> <p>3月15日(月) 市役所別館3階 教育長室</p>	<p>【案 件】</p> <p>議案第11号 令和3年度三沢市教育委員会事務局職員等の異動について</p>
<p>定 例 会</p> <p>3月26日(木) 市役所本館4階 第2会議室</p>	<p>【案 件】</p> <p>議案第12号 令和2年度三沢市教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書(令和元年度実績)について</p> <p>議案第13号 三沢市教育委員会会計年度任用職員の任用及び服務に関する規程の一部改正について</p> <p>議案第14号 三沢市教育委員会会計年度任用職員の報酬等に関する規程の一部改正について</p> <p>議案第15号 三沢市学校作業員設置要綱の制定について</p> <p>議案第16号 三沢市学校司書設置要綱の制定について</p> <p>議案第17号 三沢市スクールバス運行管理要綱及び三沢市スクールバス運行管理施行要領の制定について</p> <p>議案第18号 三沢市教育バス運行要綱の制定について</p> <p>議案第19号 三沢市文化財審議会委員の選任について</p> <p>議案第20号 三沢市立図書館協議会委員の選任について</p> <p>議案第21号 三沢市立学校歯科医の選任について</p> <p>議案第22号 三沢市学校施設長寿命化計画について</p> <p>議案第23号 三沢市立小中学校タブレット端末等管理要綱の制定について</p> <p>報告第24号 令和3年三沢市議会第1回定例会について</p> <p>報告第25号 三沢市奨学資金貸付条例の一部改正について</p> <p>報告第26号 三沢市学校規模適正化に係る意見集約について</p> <p>報告第27号 淋代団体活動センターの事故について</p> <p>報告第28号 教育長の主な活動報告(2月～3月)について</p>

2 令和2年度三沢市教育委員会施策の方針

(1) 「教育振興基本計画」の位置付け



(2) 三沢市教育施策の方針

三沢市教育委員会は、「教育は人づくり、人の中で人になる」との基本理念に立ち、グローバル化、超スマート社会の到来など、変化の激しい社会を人との関わりを基盤に生き抜き、「MISAWA の今と未来をつくる人づくり」を目指します。

このために、

- * 夢や志を高くもち、可能性に挑戦する力を育てる学校教育
- * 学校・家庭・地域をつなぎ、生涯学び、活躍できる環境づくり
- * 心の豊かさと感動・元気を生み出す、文化・スポーツの振興
- * 安心して学び、多様な力を伸ばす教育基盤の整備

を、青森県、青森県教育委員会及び家庭・地域等と連携し推進を図ります。

* 「教育振興基本計画」のポイント

4つの基本方針

人との関わりを基盤に「MISAWA の今と未来をつくる人づくり」のため、学校教育と生涯を通じた学び、文化・スポーツの振興、安心して学ぶための基盤づくりなど、4つの基本的な方針を設定

10の政策目標

子供たち一人一人が、安全・安心な環境の中で、変化の激しい社会を生き抜き可能性に挑戦する力を身につけるとともに、多くの市民が生涯にわたって学び、文化・スポーツに打ち込めるように、教育行政の目指す政策の目標を10に分けて提示

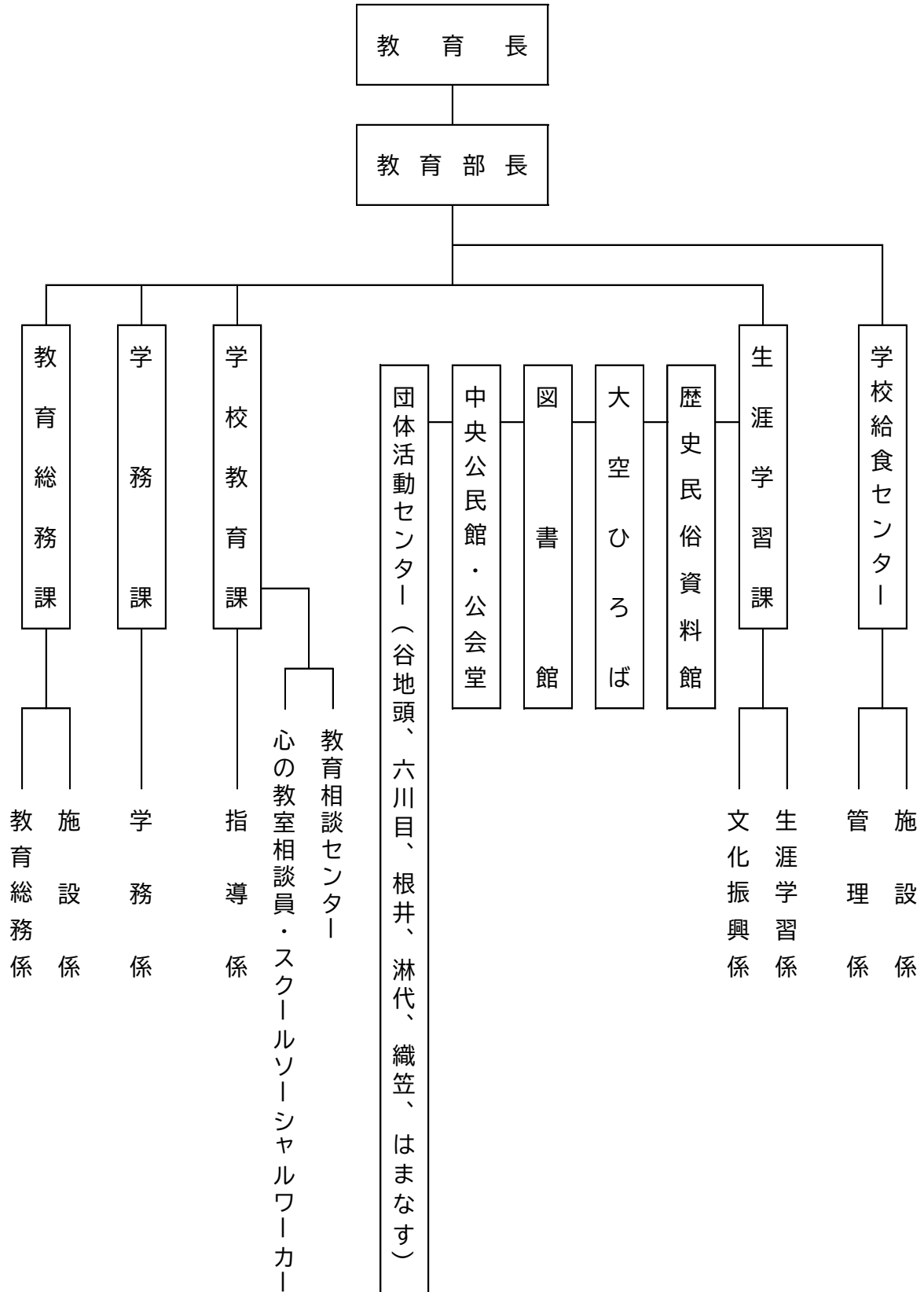
22の重点施策

グローバル化、価値観の多様化、超スマート社会の到来など、これからの未来を生きる子供たちへの教育としてあるべき姿を描きつつ、生涯を通じて学び、社会の持続的発展のために活躍できる力を身に付けられるよう、教育政策の目標を実現するために必要な22の重点施策を体系的に整理

(3) 政策・施策の体系

基本方針	政策目標	重点施策
I 夢や志を高くもち、可能性に挑戦する力を育てる学校教育	1 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成	(1) 確かな学力・豊かな人間性・健康な体の育成
		(2) 教職員の資質向上
		(3) 特別支援教育の充実
	2 グローバルなコミュニケーション能力を育む英語教育の充実	(4) 英語によるコミュニケーション能力の育成
		(5) 異なった文化や習慣をもつ人々との交流事業
	3 いじめ・不登校等のない学校を目指した体制づくり	(6) いじめ・不登校等へ対応する教育相談体制の充実
		(7) 人との関わりを身に付ける取組の推進
II 学校・家庭・地域をつなぎ、生涯学び、活躍できる環境づくり	4 いつでもどこでも、誰でも学べる機会の充実	(8) 生涯学習の機会の充実
		(9) 社会教育施設の活用
	5 学校・家庭・地域の連携と協働の充実	(10) 学校・家庭・地域コミュニティーの連携・強化
	6 生き抜く力を育む、キャリア教育支援の充実	(11) キャリア教育支援体制の整備・充実
III 心の豊かさと感動・元気を生み出す、文化・スポーツの振興	7 ふるさとの文化継承と地域発信ができる文化活動	(12) 文化財の保護・保存と公開・活用
		(13) 伝統芸能・技術の継承
		(14) 市民による文化活動の振興
	8 豊かなスポーツライフを実現する環境づくり	(15) スポーツ活動の推進と環境の整備
(16) 各種スポーツ大会参加への支援		
IV 安心して学び、多様な力を伸ばす教育基盤の整備	9 健康で、依存に負けない習慣づくり	(17) 「習慣は第二の天性」推進事業
		(18) 児童生徒の健康の保持・増進
	10 安全・安心で、質の高い教育環境の充実	(19) 安全・安心で快適な教育環境の確保
		(20) 教育費負担軽減などによる学習機会の確保
		(21) 確かな学力の育成のための教材整備
		(22) 教育力向上のための人的支援

(4)教育委員会事務局機構図



3 教育委員会の事務の点検・評価

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(平成19年度6月改正、平成20年度4月施行)の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

この法律を受け、三沢市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 対象事業

令和2年3月策定の「三沢市教育振興基本計画」で示した22の重点施策で行っている主な事業を抽出し実施しました。

(3) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、学識経験者等からその実施方法や内容について意見をいただき、これを参考に点検・評価の実施と報告書の作成を行いました。

- 種市 俊之 氏(三沢市連合PTA副会長)
- 小泉 厚子 氏(前三沢市教育委員会事務局教育部長)

(4) 点検・評価の方法

対象となる事務事業について、保護者満足度アンケート結果を取り入れつつ、評価指数に基づいて、必要性・有効性・効率性・公平性等の観点から検証し、総合意見を記し、評価をして報告書を作成しました。

(評価区分)

- ・総合評価 ⇒ ◎=想定以上の評価、○=概ね想定通りの評価、△=課題がある
- ・今後の方向性 ⇒ 継続、見直し、廃止

4 点検・評価結果

【評価点検シート 施策No.1】

基本方針	I 夢や志を高くもち、可能性に挑戦する力を育てる学校教育			
政策目標	1 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成			
重点施策	(1) 確かな学力・豊かな人間性・健康な体の育成			
担当課	学校教育課			
事業・取組内容	①学力知能検査事業 ②総合的学習推進事業 ③校外体験事業、読書充実事業 ④市教育振興会補助金及び各種連携事業（小学校陸上競技大会、音楽交歓会等）			
主な評価指数	・県学習状況調査における到達率（県比）			
事業目的	①児童・生徒の学力知能検査を行うことで、学力及び知力特性を把握し、授業改善や個に応じた指導の向上に資する。 ②国際理解教育及び環境教育、ゆめチャレ教室等を通して、児童生徒の生きる力の育成を図る。 ③各教科で学んだ知識を校外体験学習を通して活用力を身に付ける。また、新聞を活用して社会の現状や課題を知り、まとめる力の育成を図る。 ④各種事業を通して知・徳・体の調和の取れた児童生徒の育成を図る。			
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)
	①学力知能検査事業	5,131	4,811	0
	②総合的学習推進事業	4,243	2,311	0
	③校外体験事業、読書充実事業	1,800	1,800	0
	④市教育振興会補助金及び各種連携事業	2,593	512	0
成果と課題	① 学力知能検査事業 各校で児童生徒一人一人の学力及び知的特性に合わせた指導が行われた。 ② 総合的学習推進事業 国際理解教育及び環境教育、ゆめチャレ教室等、児童生徒の生きる力の育成を図った。 ③ 校外体験事業、読書充実事業 校外体験学習で知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成と学力の向上が図られた。また、小・中9年間による「見通しと振り返り」を大切に読書活動を展開するために、学校司書と図書館管理システム（ELISE-Egg）を活用し、子供一人一人の定期的・継続的な読書記録の作成及び配布を行った。			

	<p>④市教育振興会補助金及び各種連携事業</p> <p>今年度は、小学校陸上競技大会及び音楽交歓会が新型コロナウイルス感染症対策により中止になったが、理科研究発表会は会場を国際交流教育センターに変更して実施した。また、美術審査会も日程や内容を変更して実施した。来年度は実施方法を工夫するなどし、全ての事業を実施したい。</p> <table border="1" data-bbox="448 479 1342 624"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値: R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県学習状況調査</td> <td>小：中止</td> <td>小：105%</td> <td>小：107.5%</td> </tr> <tr> <td>到達率（県比）</td> <td>中：中止</td> <td>中：107%</td> <td>中：104.1%</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	R2	目標値	参考値: R1	県学習状況調査	小：中止	小：105%	小：107.5%	到達率（県比）	中：中止	中：107%	中：104.1%
年 度	R2	目標値	参考値: R1												
県学習状況調査	小：中止	小：105%	小：107.5%												
到達率（県比）	中：中止	中：107%	中：104.1%												
<p>総合評価</p>	<p>○</p>	<p>今後の方向性</p>	<p>継続</p>												
<p>総合意見</p>	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>学力・知能検査から得られる児童生徒個々の学力を把握し、その結果をもとに効果的な指導を行うとともに、校外体験学習で知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成を行うなど、今後とも継続して実施してほしいと思います。</p>														

【評価点検シート 施策No.2】

基本方針	I 夢や志を高くもち、可能性に挑戦する力を育てる学校教育			
政策目標	1 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成			
重点施策	(2) 教職員の資質向上			
担当課	学校教育課			
事業・取組内容	①学校訪問事業 ②理数教育研修会 ③研究員研修講座 ④研修主任研修会 ⑤教務主任研修会 ⑥英語教育研修講座 ⑦学校教育指導の方針と重点の作成・配布			
主な評価指数	・教職員の研修参加達成率			
事業目的	①「学校教育指導の方針と重点」の説明と、各校の教育目標具現化に向けた共通理解及び助言・指導を行う。 ②⑥各種調査結果分析等を踏まえ、児童生徒の基礎的・基本的な内容の習得及び定着を図るための、教科学習充実の一助とする。 ③教員の資質・能力の向上に資する。 ④⑤研修主任・教務主任としての職務遂行に必要な資質の向上に資する。 ⑦本市の学校教育に係る指導の方針と重点を冊子にし、配布し周知することで教員の指導力向上を図る			
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)
	①学校訪問事業	0	0	0
	②三沢市小・中学校算数・数学研修会	10	10	0
	③研究員研修講座	0	0	0
	④研修主任研修会	5	0	0
	⑤教務主任研修講座	10	0	0
	⑥英語教育研修講座	99	21	0
	⑦学校教育指導の方針と重点の作成・配布	198	198	0
成果と課題	①学校訪問事業 今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、1学期の計画訪問を見送り、2学期に実施した。出席者は、校長、教頭、学校によっては各主任、学校教育課からは、課長、補佐、指導主事2名の計4名での訪問とした。市内各小中学校には、「学校教育指導の方針と重点」の記載内容をベースに、現状に応じた教育活動について説明した。また、市内小中学校からの要請により指導主事を派遣し、教科等の指導力向上のための研修を実施した。特に新学習指導要領の全面実施に対応して、教育の動向や先進校実践事例の情報提供を行い、各教科等の授業づくりのポイントを示			

すことで、教員の授業力向上を図った。

②理数教育研修会

市内全小中学校の教員を対象に、県学習状況調査の結果を基にした市内児童生徒の理数科の課題及び課題解決のための授業改善に関する研修を実施した。本研修によって、算数・数学科においては、GRAPES ソフトを活用した授業の講義・演習を、理科においては、プログラミング的思考を育む授業づくりの講義・演習を行った。

③研究員研修講座

市内小中学校から研究員を募集し、授業力の向上をねらいとした研修機会を提供した。また、研究の共有化をねらいとした情報発信を全小中学校に行った。教育研究に関する研修の機会の提供と各学校への授業力向上に向けた情報を提供した。

学習指導要領の全面实施を受け、各研究員が「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を主なテーマとして研究を進めることができた。教員の授業力と実践力の向上の一助となる事業となった。

④研修主任研修会

市内小中学校の研修主任を対象に、職務遂行に必要な資質の向上、研修主任同士の連携、各学校の校内研修（究）の活性化を図るための研修を実施した。

本研修により、各校における校内研修（究）の日常化や新学習指導要領の視点を伴った実践につながる情報を提供することができた。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策による時間短縮の開催であるため、アンケートは実施しなかった。

研修主任同士のつながりを深め、研修主任のリーダーシップに資する研修ができ、各校の教育課題に向けた校内研修（究）計画づくりの一助となった。

⑤教務主任研修会

市内小中学校の教務主任を対象に、三沢市学校教育課長の講義「教務主任の業務について」と題し、カリキュラム・マネジメントの視点で教育課程の見直し「CAP-DO」の取組等、時間短縮ではあったが、各校の情報交換も含めとても充実した研修であった。参加者からも高評価を得た。

⑥英語教育研修講座

【小学校英語研修講座講演会】

指導内容や指導方法について教員相互の理解を深め、小学校から中学校へのスムーズな橋渡しが可能となるよう、講義・演習等を通じて英語指導力向上を図った。
※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から参集範囲を上十三全域から三沢市のみに規模を縮小して実施した。

	<p>【小学校英語研修講座】 英語活動科の概要や基本的な教室英語、教材使用、AET との TT 指導等について講義・演習を行い、英語活動科における指導力の向上を図った。</p> <p>【英語活動科公開授業研究会】 指導内容や指導方法について参加者に有用な情報を提供するとともに、定住自立圏に係る事業の一貫として上北管内全体に参加を呼びかけ、教員の指導力向上を図った。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から公開授業研究を中止した。</p> <p>⑦学校教育指導の方針と重点の作成・配布 学校経営や学校運営、教職員の資質向上を目的とした教師用のマニュアルとして、毎年内容を改善しながら作成し、市内各小中学校の全教職員に配布している。また、計画訪問時に各担当から学校教育指導の重点について説明しているが、今年度はコロナ禍で変則的な形式での訪問だったので、説明の他に、内容が確実に伝わるよう、必要な内容を担当ごとに文書にまとめて配布した。各校では、これを基に学校経営や学校運営等を行い、カリキュラム・マネジメントに生かした。</p> <table border="1" data-bbox="392 1099 1449 1245"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値: R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員の研修参加達成率 (参加者数/教員数)</td> <td>50.2%</td> <td>80%</td> <td>75.3%</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	R2	目標値	参考値: R1	教員の研修参加達成率 (参加者数/教員数)	50.2%	80%	75.3%
年 度	R2	目標値	参考値: R1								
教員の研修参加達成率 (参加者数/教員数)	50.2%	80%	75.3%								
総合評価	○	今後の方向性	継続								
総合意見	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>学校訪問を行うとともに各種研修会を実施し、教職員の資質・能力の向上につながられたと思います。また、今後は、タブレット型端末に関する研修など新しい内容の研修を実施する等、引き続き充実した研修・研究を行い、指導力の向上につながることを期待しています。</p>										

【評価点検シート 施策No.3】

基本方針	I 夢や志を高くもち、可能性に挑戦する力を育てる学校教育			
政策目標	1 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成			
重点施策	(3) 特別支援教育の充実			
担当課	学校教育課			
事業・取組内容	①教育支援委員会事業 ②中学校における訪問型通級指導 ③幼稚園等訪問事業			
主な評価指数	・訪問実施回数			
事業目的	①市内の小中学校に就学予定の幼児や小中学校に在学する児童生徒のうち、障害を有する子供に対し、教育的措置について調査・審議を行ない、対象児童生徒の適正就学に貢献する。 ②通級生徒について保護者の送迎負担、授業時間への影響等を軽減し、在籍校、在籍学級担任との情報共有を進めながら、よりきめ細かな指導を行う。 ③特別な配慮を必要としている幼児の把握及び、関係職員に対する配慮・支援に関する情報提供・助言を行うため。また、教育支援を申し込んだ幼稚園等に対し、小学校入学までに、配慮・支援、留意することなどを情報提供する。			
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)
	①教育支援委員会事業	603	396	0
	②中学校における訪問型通級指導	0	0	0
	③幼稚園等訪問事業	0	0	0
成果と課題	<p>①教育支援委員会事業</p> <p>市内の小中学校に就学予定の児童や小中学校に在学する児童生徒のうち、障害を有する子供に対し、医学検査等を実施した。また、医師、児童相談所、学校関係者等からなる教育支援委員会は、検査結果を受けて教育的措置について調査・審議を行ない、対象児童生徒の適正就学に貢献することができた。</p> <p>②中学校における訪問型通級指導</p> <p>中学校における通級指導は、保護者の送迎の負担、授業時間への影響等を軽減するため、第一中学校通級担当指導教員が通級生徒在籍校へ訪問型通級指導を行っている。通級生徒の負担軽減とともに、在籍校、在籍学級担任との情報共有が進み、よりきめ細かな指導を行うことができています。</p> <p>③幼稚園等訪問事業</p> <p>今年度より、市内の幼稚園等を子育て支援課、健康推進課と連携して訪問し、特別な配慮を必要としている幼児の把握及び、関係職員に対する配慮・支援に関する情報提供・助言を行った。また、教育支援を申し込んだ幼稚園等に対し、小学校入学までに、配慮・支援留意することなどを情報提供した。発達障害理解啓発説明会</p>			

	<p>では保護者向けに講演を行っている。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、理解啓発パンフレットの配布のみとした。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>年 度</td> <td>R2</td> <td>目標値</td> <td>参考値: R1</td> </tr> <tr> <td>訪問回数</td> <td>25回</td> <td>22回</td> <td>21回</td> </tr> </table> <p>※令和2年度から子育て支援課、健康推進課と連携して実施。</p>			年 度	R2	目標値	参考値: R1	訪問回数	25回	22回	21回
年 度	R2	目標値	参考値: R1								
訪問回数	25回	22回	21回								
総合評価	○	今後の方向性	継 続								
総合意見	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>障害のある児童生徒の教育ニーズを把握して、保護者の理解や早期対応など、適切な指導を行い、よりきめ細かに支援していく必要があると考えます。</p> <p>今後も保護者の気持ちに寄り添って、児童生徒のより良い就学への支援を継続していただきたいと思えます。</p>										

【評価点検シート 施策No.4】

基本方針	I 夢や志を高くもち、可能性に挑戦する力を育てる学校教育											
政策目標	2 グローバルなコミュニケーション能力を育む英語教育の充実											
重点施策	(4) 英語によるコミュニケーション能力の育成											
担当課	学校教育課											
事業・取組内容	①外国語指導助手（ALT）派遣事業 ②英語指導助手（AET）派遣事業 ③中学生イングリッシュキャンプ ④小学生ジュニアイングリッシュデイ											
主な評価指数	・英語検定3級取得率 ・各種事業参加人数											
事業目的	①②外国語指導助手（ALT）と英語指導助手（AET）を市内小・中学校に派遣し、英語によるコミュニケーション能力の向上に資する。 ③④米軍三沢基地の施設訪問、英語活動等により、児童生徒がネイティブな英語に接する機会に加え、異文化理解の機会の一助とする。											
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名	R2当初予算	R2決算	(うち特定財源)								
	①外国語指導助手（ALT）派遣事業	8,519	4,194	0								
	②英語指導助手（AET）派遣事業	8,250	1,689	0								
	③中学生イングリッシュキャンプ	432	76	0								
	④小学生ジュニアイングリッシュデイ	5	2	0								
成果と課題	<p>①外国語指導助手（ALT）派遣事業</p> <p>外国語指導助手（ALT）2名が市内中学校訪問し、英語学習や諸行事に参加しながら、英語によるコミュニケーション能力の育成に努めている。</p> <p>また、英語によるコミュニケーション中心の授業を行い、ネイティブな発音に触れる機会を増やし、英語能力の向上を図った。</p> <p>※令和2年度はALT1名体制で事業を実施している。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値：R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>英語検定3級取得率</td> <td>46.2%</td> <td>70%</td> <td>41.8%</td> </tr> </tbody> </table>				年度	R2	目標値	参考値：R1	英語検定3級取得率	46.2%	70%	41.8%
	年度	R2	目標値	参考値：R1								
英語検定3級取得率	46.2%	70%	41.8%									
<p>②英語指導助手（AET）派遣事業</p> <p>市内全小学校の英語活動科の授業にAETを派遣し、ネイティブな英語に直接触れる機会を確保しながら、「聞くこと」「話すこと」を中心とした授業を実施している。</p> <p>③中学生イングリッシュキャンプ</p> <p>ALTを中心としたグループ活動や基地内施設訪問・体験により、英語を活用する場</p>												

	<p>面を多く設定することで、英語の発話量とコミュニケーション能力の向上を図った。 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策の一環で、例年2泊3日で行っている事業を、1日開催と規模を縮小して実施した。</p>										
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th style="text-align: center;">年 度</th> <td style="text-align: center;">R2</td> <th style="text-align: center;">目標値</th> <th style="text-align: center;">参考値: R1</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">参加生徒数</td> <td style="text-align: center;">42人</td> <td style="text-align: center;">40人</td> <td style="text-align: center;">30人</td> </tr> </table>			年 度	R2	目標値	参考値: R1	参加生徒数	42人	40人	30人
年 度	R2	目標値	参考値: R1								
参加生徒数	42人	40人	30人								
	<p>④小学生ジュニアイングリッシュデイ 令和元年度より事業を見直し、市内小学生6年生を対象に、三沢基地内を訪問し、三沢基地内の外国人小学生や外国語指導助手との交流活動を通して児童が英語を使って楽しくコミュニケーションを図ることを目的に「ジュニアイングリッシュデイ」を新規実施している。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、三沢基地訪問を取りやめ、規模を縮小して実施した。</p>										
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th style="text-align: center;">年 度</th> <td style="text-align: center;">R2</td> <th style="text-align: center;">目標値</th> <th style="text-align: center;">参考値: R1</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">参加児童数</td> <td style="text-align: center;">18人</td> <td style="text-align: center;">40人</td> <td style="text-align: center;">39人</td> </tr> </table>			年 度	R2	目標値	参考値: R1	参加児童数	18人	40人	39人
年 度	R2	目標値	参考値: R1								
参加児童数	18人	40人	39人								
<p>総合評価</p>	<p>○</p>	<p>今後の方向性</p>	<p>継続</p>								
<p>総合意見</p>	<p>妥当性があると判断されます。 児童生徒が、学校生活や事業の中で身近にネイティブな英語に触れる貴重な機会であり、コミュニケーション能力の向上にも役立っていると思います。 引き続き、児童生徒の学力向上、そして当市の特色を生かした英語教育の向上に努めていただきたいと思います。</p>										

【評価点検シート 施策No.5】

基本方針	I 夢や志を高くもち、可能性に挑戦する力を育てる学校教育											
政策目標	2 グローバルなコミュニケーション能力を育む英語教育の充実											
重点施策	(5) 異なった文化や習慣をもつ人々との交流事業											
担当課	学校教育課											
事業・取組内容	①外国人講師（国際理解）派遣事業 ②日米交流学習事業 ③日米総合子供会活動（仮称）の推進											
主な評価指数	・各種事業参加人数 ・講師派遣授業時数											
事業目的	世界的な視野をもち、国際文化都市にふさわしい児童の育成を目指し、外国の伝統や文化を学んだり、外国の小学生との体験活動等を行ったりして、異文化理解や異文化交流を促進するため。											
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)								
	①外国人講師（国際理解）派遣事業	756	231	0								
	②日米交流学習事業	49	0	0								
	③日米総合子供会活動（仮称）の推進	0	0	0								
成果と課題	<p>①外国人講師（国際理解）派遣事業</p> <p>諸外国出身者を講師として市内各小学校に派遣した。世界的な視野をもち、国際文化都市にふさわしい児童の育成を目指し、出身国の伝統や文化の説明・体験を通して、より一層の異文化理解を図った。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>講師出身国（時間数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>スペイン（44時間）</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>2か国（84時間）</td> </tr> <tr> <td>参考値：R1</td> <td>グアム（58時間）、フィリピン（54時間）</td> </tr> </tbody> </table>				年度	講師出身国（時間数）	R2	スペイン（44時間）	目標値	2か国（84時間）	参考値：R1	グアム（58時間）、フィリピン（54時間）
	年度	講師出身国（時間数）										
R2	スペイン（44時間）											
目標値	2か国（84時間）											
参考値：R1	グアム（58時間）、フィリピン（54時間）											
<p>②日米交流学習事業</p> <p>市内小学校と基地内小学校（ソラーズ小）において、ハロウィンなどのアメリカの行事と折り紙、けん玉などの日本の遊びや日本文化を互いに紹介する交流活動を実施し、児童の英語に対する興味・関心を高めている。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</p> <p style="text-align: center;">【参加児童数】</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値：R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加延べ人数</td> <td>中止</td> <td>350人</td> <td>394人</td> </tr> </tbody> </table>				年度	R2	目標値	参考値：R1	参加延べ人数	中止	350人	394人	
年度	R2	目標値	参考値：R1									
参加延べ人数	中止	350人	394人									

	<p>③日米総合子供会活動（仮称）の推進</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、ジャパンデー、アメリカンデー、三沢基地航空祭など、市内で開催される大きなイベントが全て中止になった。日米総合子供会活動（仮称）の活動を見込めるイベントが、再び開催できるようになったときに活動を推進していきたいと考えている。</p> <p>そのため、外務省と DoDEA が主催した三沢基地内での交流活動である Innovator's Camp に積極的に関わり、日本人生徒 11 名、アメリカンスクール生徒 15 名が参加し、日米総合子供会活動（仮称）推進の第 1 歩とした。</p> <p style="text-align: center;">【参加児童生徒数】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年 度</th> <th style="text-align: center;">R2</th> <th style="text-align: center;">目標値</th> <th style="text-align: center;">参考値: R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">参加延べ人数</td> <td style="text-align: center;">26 人</td> <td style="text-align: center;">30 人</td> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	R2	目標値	参考値: R1	参加延べ人数	26 人	30 人	なし
年 度	R2	目標値	参考値: R1								
参加延べ人数	26 人	30 人	なし								
<p>総合評価</p>	○	<p>今後の方向性</p>	<p>継 続</p>								
<p>総合意見</p>	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>英語でのコミュニケーション能力の向上とともに国際理解教育にも役立っていると思います。また、英語検定受験費用の助成によって、英検取得率も向上しており、児童生徒の英語力アップに役立っていると思います。</p>										

【評価点検シート 施策No.6】

基本方針	I 夢や志を高くもち、可能性に挑戦する力を育てる学校教育			
政策目標	3 いじめ・不登校等のない学校を目指した体制づくり			
重点施策	(6) いじめ・不登校等へ対応する教育相談体制の充実			
担当課	学校教育課			
事業・取組内容	①心の教室相談員設置事業 ②教育相談室設置事業 ③適応指導教室設置事業 ④スクールソーシャルワーカー派遣事業			
主な評価指数	・不登校児童生徒数の割合			
事業目的	①教育相談室や各学校と連携しながら、様々な不安や問題の解消を求める児童生徒への相談・助言を行い、不登校やひきこもり等の解消や未然防止を図る。 ②さまざまな悩みや心配事、学習指導等に関する電話・来室相談、家庭訪問等による教育相談を行う。 ③学校に行きたくても行けない児童生徒たちのために、不安や悩みを軽減し、人間関係づくりの力をはぐくみ、自立と学校への再登校をめざす。 ④児童生徒の学校生活の諸問題の解決や家庭環境に対する支援、外部機関との連携を図る。			
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)
	①心の教室相談員設置事業	5,779	5,760	0
	②教育相談室設置事業	320	245	0
	②教育相談関係者連絡協議会			
	③適応指導教室設置事業			
④スクールソーシャルワーカー派遣事業	1,977	2,046	0	
成果と課題	①心の教室相談員設置事業 児童生徒の悩み相談に対応することを主として中学校4校（第一中学校、第二中学校、第五中学校、堀口中学校）、小学校2校（木崎野小学校、岡三沢小学校）に6名配置している。教育相談室や各学校と連携しながら、様々な不安や問題の解消を求める児童生徒への相談・助言を行い、不登校やひきこもり等の解消や未然防止のために取り組んでいる。 ②教育相談室設置事業 児童生徒や保護者から寄せられる様々な相談内容に対応している。ここ数年は年間相談件数が300件を超え、特に不登校や学習面についての問題や悩み事に対しての相談・助言等を行っている。			

	<p>③適応指導教室設置事業 様々な事情から学校に登校することができない児童生徒に対して、学習面での支援や人間関係づくり、学校生活への適応など、対象児童生徒に適した適応指導を計画的に実施している。適応指導員3名による指導は、対象児童生徒の居場所づくりとして重要な役割を担っている。</p> <p>④スクールソーシャルワーカー派遣事業 主として小学校5校（上久保小学校、古間木小学校、三沢小学校、三川目小学校、おおぞら小学校）、中学校1校（第三中学校）に派遣し、児童生徒の学校生活の諸問題の解決だけでなく、特に家庭環境に対する支援や外部機関との連携が必要な場合に対応している。（2名配置）</p> <table border="1" data-bbox="418 763 1409 909"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値：R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">不登校児童生徒数の割合 (全国比)</td> <td>小：87%</td> <td>小：100%以下</td> <td>小：75%</td> </tr> <tr> <td>中：63%</td> <td>中：100%以下</td> <td>中：101%</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	R2	目標値	参考値：R1	不登校児童生徒数の割合 (全国比)	小：87%	小：100%以下	小：75%	中：63%	中：100%以下	中：101%
年 度	R2	目標値	参考値：R1											
不登校児童生徒数の割合 (全国比)	小：87%	小：100%以下	小：75%											
	中：63%	中：100%以下	中：101%											
<p>総合評価</p>	<p>○</p>	<p>今後の方向性</p>	<p>継続</p>											
<p>総合意見</p>	<p>妥当性があると判断されます。 児童生徒の諸問題は、教職員やソーシャルワーカー、相談員の方々が対応し、一人一人の不安や問題解消に役立っているものと思われます。件数の増加とともに内容も年々複雑化してきていると思われますので、人員を増加するなど、児童生徒の健全な育成に努めていただくようお願いします。</p>													

【評価点検シート 施策No.7】

基本方針	I 夢や志を高くもち、可能性に挑戦する力を育てる学校教育			
政策目標	3 いじめ・不登校等のない学校を目指した体制づくり			
重点施策	(7) 人との関わりを身に付ける取組の推進			
担当課	学校教育課			
事業・取組内容	①いじめ・不登校未然防止活動（仮称：こどもいじめなくし隊活動、情報モラル指導等）			
主な評価指数	・各学校における未然防止活動実施率・			
事業目的	三沢市の児童生徒一人一人が、望ましい人間関係に支えられ、楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、各校における自主的ないじめ防止活動の推進を図る。			
成果を構成する 事務事業 (単位：千円)	事業名	R2当初予算	R2決算	(うち特定財源)
	・三沢市こどもいじめなくし隊活動	55	41	
成果と課題	<p>①いじめ・不登校未然防止活動</p> <p>市内全小中学校に「学校教育指導の方針と重点」を配布し、一人一人の児童生徒が「来るのが楽しい学校」を目指して助言・指導を行っている。また、各校においては、児童生徒の実態を踏まえながら、いじめ・不登校の児童生徒の未然防止に努めている。</p> <p>【三沢市こどもいじめなくし隊活動】 (目的) 三沢市の児童生徒一人一人が、望ましい人間関係に支えられ、楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、いじめの未然防止に有効な「人権について考える」活動を体験することにより、各校における自主的ないじめ防止活動の推進を図る。 (実施日と場所) 令和3年1月29日 三沢市国際交流教育センター</p> <p>【情報モラル指導等】 市内各小中校で実態に合わせた情報モラル指導ができるように、毎年、スマートフォン所持数の実態を小学校4年生以上を対象に調査している。その結果を踏まえながら、各校で適切な情報モラル指導に努めている。</p> <p>ネットトラブル未然防止に向けて、児童生徒の意識の涵養と地域への啓発を図ることを目的に、毎年、「ネットトラブル未然防止標語」を募集している。各校の代表作品は、ミニポスターとして各校に掲載、広報みさわで地域に発信をしている。また、各校において、学習発表会や文化祭、参観日や学級通信等での活用をお願いしている。</p>			

	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値: R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各学校における未然防止活動実施率</td> <td>100.0%</td> <td>100%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	R2	目標値	参考値: R1	各学校における未然防止活動実施率	100.0%	100%	100.0%
年 度	R2	目標値	参考値: R1								
各学校における未然防止活動実施率	100.0%	100%	100.0%								
総合評価	○	今後の方向性	継続								
総合意見	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>いじめの問題については、先生方からの指導のみではなく、各校において自主的ないじめ防止活動の推進を図っているため、継続してほしいと思います。情報モラル指導は、スマートフォンの所持率が上がり、多様化してきていることから、学校関係者、保護者等との連携した対応で、児童生徒の健全な育成に努めていただくようお願いいたします。</p>										

【評価点検シート 施策No.8】

基本方針	Ⅱ 学校・家庭・地域をつなぎ、生涯学び、活躍できる環境づくり																																			
政策目標	4 いつでも、どこでも、誰でも学べる機会の充実																																			
重点施策	(8) 生涯学習の機会の充実																																			
担当課	生涯学習課																																			
事業・取組内容	①生涯学習のまちづくり推進事業 ②社会教育活動推進補助																																			
主な評価指数	・事業の参加者数																																			
事業目的	地域内で教えあい、学びあうことを目的とし、すべての住民に学びの機会を提供する。																																			
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名	R2当初予算	R2決算	(うち特定財源)																																
	・生涯学習のまちづくり推進事業	1,918	1,749	0																																
成果と課題	<p>①生涯学習のまちづくり推進事業</p> <p>ア指導者派遣事業</p> <p>地域内で教えあい、学びあうことを目的に、指導者登録を推進し、地域住民のニーズに合った講師・指導者等の派遣・開催に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値：R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業数</td> <td>68</td> <td>56</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>7回</td> <td>10回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>74人</td> <td>100人</td> <td>288人</td> </tr> </tbody> </table> <p>イブックスタート事業</p> <p>「生きる力」を育むための読書推進のスタートとして、4か月健診の乳児に、絵本を無料配布した。(本のタイトル：くっついた、いいおかお)</p> <p>R2年度は、図書館職員とボランティアによる絵本の読み聞かせは、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。</p> <p>毎月1回(年12回)／場所：保健相談センター</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値：R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配付冊数</td> <td>343冊</td> <td>-</td> <td>288冊</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>中止</td> <td>12回</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>参加組数</td> <td>343組</td> <td>-</td> <td>289組</td> </tr> </tbody> </table>				年度	R2	目標値	参考値：R1	事業数	68	56	64	開催回数	7回	10回	10回	参加者数	74人	100人	288人	年度	R2	目標値	参考値：R1	配付冊数	343冊	-	288冊	回数	中止	12回	11回	参加組数	343組	-	289組
	年度	R2	目標値	参考値：R1																																
事業数	68	56	64																																	
開催回数	7回	10回	10回																																	
参加者数	74人	100人	288人																																	
年度	R2	目標値	参考値：R1																																	
配付冊数	343冊	-	288冊																																	
回数	中止	12回	11回																																	
参加組数	343組	-	289組																																	

㊦コミュニティカフェ事業

社会教育施設(図書館・公民館)を拠点に、多様なコミュニケーションが生まれる社会参加の場として開催していたが、コロナ禍においてカフェ事業は、実施できなかった。

令和元年度から実施している障害者アートフェアは、東京パラリンピックスポーツ競技の機運を高めるため、国際交流スポーツセンターで障害福祉課と合同開催できた。

年 度	R2	目標値	参考値：R1
回 数	1回	-	1回

㊧社会教育活動推進補助

社会教育関係団体等に補助金を交付し、社会教育活動の推進を図った。

団体名	主な活動内容及び補助金額			
連 合 婦 人 会	各種ボランティア等の地域活動を展開			200,000円
子 ども 会 育 成 協 議 会	ジュニアリーダーの育成、「こどもの祭典」の開催等 250,000円			
	年 度	R2	目標値	参考値：R1
	日 数	7日	10日	23日
	参加者数	47人	80人	123人
連 合 P T A	PTA活動の連携、研修会実施			400,000円
少 年 少 女 発 明 ク ラ ブ	創造性豊かな科学好きな子供を育成 150,000円			
	年 度	R2	目標値	参考値：R1
	日 数	20日	20日	24日
	延参加者数	425人	350人	538人

総 合 評 価	○	今後の方向性	継 続
---------	---	--------	-----

総 合 意 見	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>コロナ禍において活動が制限される中、感染防止に努めながら活動したことが今後の発展につながることを期待します。</p>
---------	---

【評価点検シート 施策No.9】

基本方針	Ⅱ 学校・家庭・地域をつなぎ、生涯学び、活躍できる環境づくり																											
政策目標	4 いつでも、どこでも、誰でも学べる機会の充実																											
重点施策	(9) 社会教育施設の活用																											
担当課	生涯学習課																											
事業・取組内容	①図書館運営事業 ②公民館等運営事業 ③団体活動センター管理事業 ④大空ひろば管理事業																											
主な評価指数	・社会教育施設の利用状況																											
事業目的	地域住民のニーズに対応するイベントや学習講座を設け、社会教育の向上や文化振興などのため、利用できる機会や場を提供する。																											
成果を構成する 事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)																								
	①図書館運営事業	57,702	57,545	0																								
	②公民館等運営事業	96,990	101,878	0																								
	③団体活動センター管理事業	11,658	11,535	0																								
	④大空ひろば管理事業	14,469	14,969	0																								
成果と課題	<p>①図書館運営事業</p> <p>学校や県立図書館、関係機関との連携、自主事業の開催などにより、図書館機能の充実や市民サービスの向上に努めた。</p> <p>R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者数が減少した。</p> <p>指定管理者：R2：(株)図書館流通センター（54,499,000円/年）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値：R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入館者数</td> <td>71,303人</td> <td>-</td> <td>92,529人</td> </tr> <tr> <td>図書貸出冊数</td> <td>87,799冊</td> <td>-</td> <td>82,945冊</td> </tr> <tr> <td>事業数</td> <td>6</td> <td>-</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>11回</td> <td>-</td> <td>64回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>656人</td> <td>-</td> <td>2,124人</td> </tr> </tbody> </table>				年度	R2	目標値	参考値：R1	入館者数	71,303人	-	92,529人	図書貸出冊数	87,799冊	-	82,945冊	事業数	6	-	8	開催回数	11回	-	64回	参加者数	656人	-	2,124人
	年度	R2	目標値	参考値：R1																								
入館者数	71,303人	-	92,529人																									
図書貸出冊数	87,799冊	-	82,945冊																									
事業数	6	-	8																									
開催回数	11回	-	64回																									
参加者数	656人	-	2,124人																									
<p>②公民館等運営事業</p> <p>心豊かな社会生活の実現に向けて、講演会や各種講座等を実施し、多くの市民に生涯学習の機会を提供した。また地域の文化芸術の振興、普及を図った。</p> <p>R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者数が減少した。</p> <p>指定管理者：R2：東北共立・寿商事グループ（89,433,000円/年）</p>																												

実施状況		R2	目標値	参考値: R1	
公民館事業	市民大学 一般講座等	講座数	24	24	23
		開催回数	272回	300回	329回
		参加者数	8,749人	11,000人	14,070人
公会堂事業	青少年舞台 芸術鑑賞等	事業数	5	6	8
		開催回数	36回	40回	47回
		参加者数	806人	1,300人	3,394人

※R2年度から当面の間、小学生を対象にした芸術鑑賞教室を休止。

公会堂利用状況		R2	目標値	参考値: R1
大ホール	使用回数	129回	100回	106回
	使用者数	6,102人	10,000人	43,516人
小ホール	使用回数	116回	100回	95回
	使用者数	3,482人	5,000人	6,687人
その他 集会施設	使用回数	1,332回	1,500回	2,230回
	使用者数	12,530人	15,000人	29,167人
合計	使用回数	1,577回	1,700回	2,431回
	使用者数	22,114人	30,000人	79,370人

③団体活動センター管理事業

各種団体に活動の場を提供することにより、地域社会の発展、市民福祉の増進、教養文化の向上に努めている。

公共施設管理計画において根井団体活動センター及び谷地頭団体活動センターについては廃止予定である。

【R2年度 利用状況】

施設名	利用団体
根井団体活動センター	小川原湖自然楽校 (施設老朽化のためR3年度末で廃止予定)

	谷地頭団体活動センター	テラヤマ・ワールド (施設老朽化のため廃止予定)									
	六川目団体活動センター	はまなすクラブ(体育館) 生涯学習課(民具展示:校舎)									
	淋代団体活動センター	お助けマンクラブ									
	はまなす団体活動センター	はまなす団体活動センター利用者の会 (第三中学校 PTA)									
	織笠団体活動センター	生涯学習課(発掘出土品整理、展示)									
	<p>④大空ひろば管理事業</p> <p>文化・科学・観光の多機能を有する「航空」をテーマとした公園として、展示機の管理や遊具の保守点検などの管理運営に努めた。</p> <p>R2年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、休園等となり入園者数が減となった。</p> <p>指定管理者：H28～R2：テイクオフみさわ(13,546,296円/年)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値：R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入園者数</td> <td>28,605人</td> <td>-</td> <td>70,231人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	R2	目標値	参考値：R1	入園者数	28,605人	-	70,231人
年 度	R2	目標値	参考値：R1								
入園者数	28,605人	-	70,231人								
総合評価	○	今後の方向性	継続								
総合意見	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>コロナ禍において活動が制限される中ではあるが、今後も社会教育の向上や文化振興などができる場として、感染防止に努めながら市民サービスの向上が図られることを期待します。</p>										

【評価点検シート 施策No.10】

基本方針	Ⅱ 学校・家庭・地域をつなぎ、生涯学び、活躍できる環境づくり															
政策目標	5 学校・家庭・地域の連携と協働の充実															
重点施策	(10) 学校・家庭・地域コミュニティの連携・強化															
担当課	生涯学習課、学校教育課															
事業・取組内容	①地域学校協働本部事業 【生涯学習課】 ②家庭教育学級運営事業 【生涯学習課】 ③お助け塾・わくわくサマーゼミナール事業 【生涯学習課、学校教育課】 ④ゴミ出し・回覧板推進活動 【生涯学習課】															
主な評価指数	・事業の参加者数															
事業目的	①～④学校・家庭・地元企業及び地域住民が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てる環境を整える。 ③調べ学習や自由研究等に主体的に取り組み、新たな価値を見いだすことのできる子供の育成に資する。(わくわくサマーゼミナール事業)															
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)												
	①学校支援活動推進事業費	2,327	1,349	0												
	②家庭教育学級運営事業費	533	404	0												
	③わくわくサマーゼミナール事業	0	0	0												
成果と課題	①地域学校協働本部事業 幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働しながら地域全体で子どもの成長を支えるなど、学校を核とした地域づくりの実現を目指している。(市内12小中学校に地域コーディネーターを配置) ・地域コーディネーター 14名 ・統括コーディネーター 2名															
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値：R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ日数</td> <td>4,244日</td> <td>3,000日</td> <td>4,646日</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>8,853人</td> <td>9,000人</td> <td>12,457人</td> </tr> </tbody> </table>				年度	R2	目標値	参考値：R1	延べ日数	4,244日	3,000日	4,646日	参加者数	8,853人	9,000人	12,457人
年度	R2	目標値	参考値：R1													
延べ日数	4,244日	3,000日	4,646日													
参加者数	8,853人	9,000人	12,457人													
②家庭教育学級運営事業 親同士が子供の成長や将来について考え、子育ての悩みや意見交換を行う場を提供した。																
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値：R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日数</td> <td>5日</td> <td>10日</td> <td>9日</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>253人</td> <td>500人</td> <td>1,169人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	R2	目標値	参考値：R1	日数	5日	10日	9日	参加者数	253人	500人	1,169人
年度	R2	目標値	参考値：R1													
日数	5日	10日	9日													
参加者数	253人	500人	1,169人													

③お助け塾・わくわくサマーゼミナール事業

㊦お助け塾

市内の小学生を対象に、家庭教育支援の一環として、地域の人材を活用し、長期休み課題（習字・絵画・ポスター等作品制作・ドリル・読書感想文等）をサポートし、学習意欲の向上に努めた。

年 度	R2	目標値	参考値: R1
日 数	7日	-	8日
参加者数	62人	-	189人

㊧わくわくサマーゼミナール

三沢市立図書館と県立三沢航空科学館と連携し、市内小学生を対象に調べ学習や自由研究の進め方を学ぶ機会を提供し、自ら問いを立て、主体的に問題解決に取り組み、新たな価値を見いだすことができる子供の育成を目的として実施した。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して実施した。

参加者が成果を作品としてまとめたり、研究発表したりすることができ、科学や図書への興味・関心や探究心を高めるための支援となった。

年 度	R2	目標値	参考値: R1
わくわくサマーゼミナール 参加者数	18人	28名	22人
三沢市理科研究発表会 発表者数	54人	28名	35人
調べる学習コンクール 応募者数	44人	28名	35人

④ゴミ出し・回覧板推進活動

子どもが家庭において役割を担うことはとても重要である一方、それらが安心安全に行われなければならない。それには学校・地域・家庭の連携が必要であり、地域学校協働本部事業と家庭教育学級運営事業の中で推進に努めてきたが、市街地ほど近隣住民間の関係が希薄で、子供の安全性の確保には至らず、推進できていない。

総合評価	○	今後の方向性	継続
総合意見	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>コロナ禍において活動が制限される中、感染防止に努めながらこれらの事業が実施されていることで、地域ぐるみで子どもを育てる環境が整い、子どもが自ら学が一助となっていると思います。</p>		

【評価点検シート 施策No.11】

基本方針	Ⅱ 学校・家庭・地域をつなぎ、生涯学び、活躍できる環境づくり																			
政策目標	6 生き抜く力を育む、キャリア教育支援の充実																			
重点施策	(11) キャリア教育支援体制の整備・充実																			
担当課	生涯学習課、学校教育課																			
事業・取組内容	①社会教育を核とする地域ネットワークの構築 【生涯学習課】 ②教育支援プラットフォーム事業 【生涯学習課】 ③ゆめ実現推進事業 【学校教育課】																			
主な評価指数	・事業の参加者数 ・児童アンケートによる満足度																			
事業目的	①②地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるため、学校と地域産業のネットワークを利用して、地域で活躍できる人材育成を目指す。 ③「地域の教育力」を有効に活用した教育環境づくりを行うことにより、児童に「ゆめ」実現のための目的意識をもたせ、日々の学習の意欲の一助とする。																			
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)																
	③ゆめ実現推進事業	278	222	0																
成果と課題	①社会教育を核とする地域ネットワークの構築 地域産業による教育支援活動等により、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるキャリア教育を行うため、学校と企業・NPO等を結ぶネットワークを構築し、教育支援活動や教育支援活動推進員の発掘及び養成等の運営に努めた。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値: R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業訪問回数</td> <td>5回</td> <td>-</td> <td>9回</td> </tr> </tbody> </table> ②教育支援プラットフォーム事業 地域産業と学校の連携・協働による地域人材の育成や、学校・家庭・地域におけるキャリア教育の充実を目指すため、上記地域ネットワークを活用し、学校との相互理解を深め、企業等の支援による学校での教育活動が活発となる事業を展開した。 <ul style="list-style-type: none"> ・主な活動：職業人講話、出前授業・模擬授業、クラブ活動講師派遣等 ・R2新規事業：八戸市民病院今院長による講話 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値: R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催数</td> <td>19回</td> <td>-</td> <td>42回</td> </tr> </tbody> </table>				年度	R2	目標値	参考値: R1	企業訪問回数	5回	-	9回	年度	R2	目標値	参考値: R1	開催数	19回	-	42回
年度	R2	目標値	参考値: R1																	
企業訪問回数	5回	-	9回																	
年度	R2	目標値	参考値: R1																	
開催数	19回	-	42回																	

	<p>③ゆめ実現推進事業</p> <p>三沢市公会堂において全小学校6年生を対象に、市内外の職業従事者からの講話や体験的活動を実施している。参加児童の感想には、仕事への興味・関心の高まり、仕事を続けていく上での厳しさ、「ゆめ」実現へ向けて努力すべきことなどがあり、児童の勤労観・職業観の醸成の一助となった。</p> <p>令和2年度から、実施方法をパネルディスカッション形式に変更した。事業アンケートを見直し、児童アンケート（満足度）を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="566 577 1270 678"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値: R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童満足度</td> <td>97.9%</td> <td>90.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			年 度	R2	目標値	参考値: R1	児童満足度	97.9%	90.0%	
年 度	R2	目標値	参考値: R1								
児童満足度	97.9%	90.0%									
<p>総 合 評 価</p>	<p>○</p>	<p>今後の方向性</p>	<p>継 続</p>								
<p>総 合 意 見</p>	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>キャリア教育の支援体制については、多方面からネットワークの構築がみられることや、多種、多様な体験活動の充実が図られており、一定の成果をあげていると思います。</p>										

【評価点検シート 施策No.12】

基本方針	Ⅲ 心の豊かさと感動・元気を生み出す、文化・スポーツ															
政策目標	7 ふるさとの文化継承と地域発信ができる文化活動															
重点施策	(12) 文化財の保護・保存と公開・活用															
担当課	生涯学習課															
事業・取組内	①文化財保存活用事業 ②遺跡発掘調査事業 ③歴史民俗資料館運営事業															
主な評価指数	・各種文化財施設利用状況															
事業目的	市内に所在する各種文化財の適切な保護・保存に努めるとともに、発掘調査で得られた成果を広く提供し、積極的な公開・活用に努める。															
成果を構成する 事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)												
	①文化財保存活用事業	650	647	0												
	②遺跡発掘調査事業	15,662	11,617	0												
	③歴史民俗資料館管理運営事業	9,155	9,528	0												
成果と課題	<p>①文化財保存活用事業</p> <p>⑦考古資料及び小川原湖民俗博物館旧蔵資料の環境整備事業</p> <p>小川原湖民俗博物館の廃館に伴い、収蔵品の一部を教育委員会で引き取り、六川目団体活動センターに収蔵・展示し、大学等と連携しながら整理作業を行っている。</p> <p>⑧文化財講座事業</p> <p>今年度は、コロナ禍であったことと発掘調査の業務多忙により、開催できなかったが、今後も機会を逸することなく文化財講座を開催し、広く市民へ公開し活用に努めたい。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年 度</th> <th style="width: 60%;">内 容</th> <th style="width: 25%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>未実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>実施できることが望ましい(回数は問わず)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>参考値</td> <td>第5回は、平成30年12月開催。 第6回は、令和2年3月実施予定であったが中止。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>②遺跡発掘調査事業</p> <p>国民共有の貴重な歴史的財産である埋蔵文化財(遺跡)を後世へと遺すため、各種の開発行為等に伴い発掘調査を実施した。(保存目的・記録保存)</p>				年 度	内 容	参加者数	R2	未実施		目標値	実施できることが望ましい(回数は問わず)		参考値	第5回は、平成30年12月開催。 第6回は、令和2年3月実施予定であったが中止。	
	年 度	内 容	参加者数													
R2	未実施															
目標値	実施できることが望ましい(回数は問わず)															
参考値	第5回は、平成30年12月開催。 第6回は、令和2年3月実施予定であったが中止。															

	<p>【R2実施状況】</p> <p>㊦早稲田(1)貝塚・野口貝塚の保存目的調査（9年目、出土品等整理）</p> <p>㊧平畑(3)遺跡の記録保存調査（4年目、市道東側部分の調査及び出土品等整理）</p> <p>㊨米軍三沢基地内排水施設建設工事に伴う埋蔵文化財の確認調査</p> <p>③歴史民俗資料館運営事業</p> <p>三沢市に存在する貴重な文化財の収集や保管を行い、郷土の歴史的遺産として一般公開するとともに、学校教育や生涯学習の場を提供した。また自主事業「モノが語る戦争」展等を実施し集客に努めた。</p> <p>R2年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、休館となり入館者数が減となった。</p> <p>指定管理者：R2：一般社団法人三沢市観光協会（8,260,000円/年）</p> <table border="1" data-bbox="592 813 1243 911"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値：R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入館者数</td> <td>1,082人</td> <td>1,500人</td> <td>1,679人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	R2	目標値	参考値：R1	入館者数	1,082人	1,500人	1,679人
年 度	R2	目標値	参考値：R1								
入館者数	1,082人	1,500人	1,679人								
<p>総 合 評 価</p>	<p>○</p>	<p>今後の方向性</p>	<p>継 続</p>								
<p>総 合 意 見</p>	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>コロナ禍において活動が制限される中、貴重な出土品の整理や保管、調査研究結果の記録等に努めてほしいと思います。また、調査結果を公開することにより、市民の文化財保護に対する意識や理解が深まることを期待します。</p>										

【評価点検シート 施策No.13】

基本方針	Ⅲ 心の豊かさと感動・元気を生み出す、文化・スポーツ																			
政策目標	7 ふるさとの文化継承と地域発信ができる文化活動																			
重点施策	(13) 伝統芸能・技術の継承																			
担当課	生涯学習課																			
事業・取組内容	①民俗芸能保存会連絡協議会補助 ②発表機会の充実																			
主な評価指数	・公演会参加者数																			
事業目的	地域に伝わる伝統芸能を広く紹介し、技術の継承と郷土愛の醸成に努める。																			
成果を構成する 事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)																
	・生涯学習のまちづくり推進事業	1,918	1,749	0																
成果と課題	<p>①民俗芸能保存会連絡協議会補助 保存会10団体が加入しており、後継者の育成、無形民俗文化財の保存のための活動に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 600,000円 (H28～R2) ・加入団体 岡三沢神楽／岡三沢鹿子踊／織笠神楽(休止中)／塩釜神楽／根井神楽／浜三沢神楽／浜三沢駒踊／豊年踊／山中神楽／民謡保存会 <p>②発表機会の充実</p> <p>㊦発表会及び公演会 本市民をはじめ多くの方に地域を代表する民俗芸能に触れる機会を提供し、その価値を広く普及・啓発する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民俗芸能公演会(例年成人の日の翌日／今年度中止) <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>年度</td> <td>R2</td> <td>目標値</td> <td>参考値: R1</td> </tr> <tr> <td>公演会延べ参加者数</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>198人</td> </tr> </table> <p>㊧後継者表彰 幼少期から大人に交じって民俗芸能の保存・伝承に長年貢献してきた高校生以下を対象に、その活動に対し感謝状の授与を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>年度</td> <td>R2</td> <td>目標値</td> <td>参考値: R1</td> </tr> <tr> <td>対象者数</td> <td>1人</td> <td>-</td> <td>1人</td> </tr> </table>				年度	R2	目標値	参考値: R1	公演会延べ参加者数	中止	-	198人	年度	R2	目標値	参考値: R1	対象者数	1人	-	1人
	年度	R2	目標値	参考値: R1																
公演会延べ参加者数	中止	-	198人																	
年度	R2	目標値	参考値: R1																	
対象者数	1人	-	1人																	
総合評価	○	今後の方向性	継続																	
総合意見	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>コロナ禍において活動が制限される中、感染防止のため発表に機会を失ったことは残念ではありますが、今後も発表の機会の醸成に努めてもらいたいと思います。</p>																			

【評価点検シート 施策No.14】

基本方針	Ⅲ 心の豊かさと感動・元気を生み出す、文化・スポーツ														
政策目標	7 ふるさとの文化継承と地域発信ができる文化活動														
重点施策	(14) 市民による文化活動の振興														
担当課	生涯学習課														
事業・取組内容	①文化協会補助 ②文化活動派遣費補助 ③文化賞等及び少年少女文化優秀賞等表彰														
主な評価指数	・市民文化祭参加者数 ・文化賞等及び少年少女文化優秀賞等受賞者数														
事業目的	市民一人一人が多様な芸術文化活動に参加し、充実した活動を行える環境づくりに努める。														
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)											
	・文化振興費	9,383	8,717	0											
成果と課題	<p>①文化協会補助</p> <p>文化協会へは、文化芸術活動の振興・発展を目的に、各種団体の育成に努めることと、市民文化祭等の開催のため補助金を交付しているが、団体や会員の高齢化により、活発な活動が見られない。文化祭への参加数も低迷しており、最近のコロナ禍において活動が沈滞している。</p> <p>文化庁「伝統文化親子教室」事業も活用し後継者育成に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 1,430,000 円 (H28～R2) ・団体会員 83 団体、個人会員 7 人 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値：R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民文化祭参加数</td> <td>32 団体</td> <td>50 団体</td> <td>84 団体</td> </tr> </tbody> </table>				年度	R2	目標値	参考値：R1	市民文化祭参加数	32 団体	50 団体	84 団体			
	年度	R2	目標値	参考値：R1											
市民文化祭参加数	32 団体	50 団体	84 団体												
<p>②文化活動派遣費補助</p> <p>市内児童生徒が、県大会以上の大会等に出場する経費に対する補助で、交通費・宿泊料・参加料は5割、楽器等の運搬費は8割の補助としている。(年度毎の活動成績により変動がある。) R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により多くの大会等が中止となったため0件となった。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値：R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>0 件</td> <td>-</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>補助金総額</td> <td>0 千円</td> <td>-</td> <td>25 千円</td> </tr> </tbody> </table>				年度	R2	目標値	参考値：R1	件数	0 件	-	1 件	補助金総額	0 千円	-	25 千円
年度	R2	目標値	参考値：R1												
件数	0 件	-	1 件												
補助金総額	0 千円	-	25 千円												

③文化賞等及び少年少女文化優秀賞等表彰

㊦文化賞等表彰

三沢市の学術・文化の向上発展に貢献し、顕著な業績をあげた市民又は団体に対してその功績を顕彰し、文化の振興を図ることを目的としている。

年 度	R2	目標値	参考値:R1
文 化 賞	0 人	-	1 人
文化功労賞	3 人	-	3 人
文化奨励賞	1 人	-	2 人
合 計	4 人	-	5 人

㊧少年少女文化優秀賞等表彰

児童生徒等の文化活動において、優れた成績を収めた者を顕彰し、意識の高揚とその活動の機運の向上を目的としている。

※表彰対象は、本市の市民又は本市内の小学校、中学校、高等学校に在籍する児童生徒並びに18歳以下の職業訓練校、専修学校生徒等としている。

年 度	R2	目標値	参考値:R1
文化優秀賞	1 人	-	15 人
文化奨励賞	81 人	-	102 人
合 計	82 人	-	117 人

総 合 評 価	○	今後の方向性	継 続
総 合 意 見	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>コロナ禍で活動が制限されている中においても、児童・生徒の活動は目覚ましいものがあります。今後も予算や人材の確保などを行い、文化活動の振興に努めていきたいと思っております。</p> <p>また、引き続き市民一人一人が多様な芸術文化活動に参加し、充実した活動を行える環境づくりに努めていきたいと思っております。</p>		

【評価点検シート 施策No.15】

基本方針	Ⅲ 心の豊かさと感動・元気を生み出す、文化・スポーツ																									
政策目標	8 豊かなスポーツライフを実現する環境づくり																									
重点施策	(15) スポーツ活動の推進と環境の整備																									
担当課	市民スポーツ課、学校教育課																									
事業・取組内容	①市民向けのスポーツ教室開催事業 【市民スポーツ課】 ②スポーツ施設の改修・整備事業 【市民スポーツ課】 ③運動部活動指導員配置事業 【学校教育課】																									
主な評価指数	・スポーツ施設利用状況																									
事業目的	①あらゆる市民が運動習慣を持ち、健康に生活するための取組を実施する。 ②老朽化している既存の体育施設の計画的な改修及び設備整備を行う。 ③部活動の質的向上及び部活動を担当する教職員への教育的支援の充実を図り、学校教育の質の向上に資する。																									
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)																						
	①健康ストレッチ教室	0	0	-																						
	②南山屋外運動場夜間照明設備改修事業	130,918	108,567	95,200																						
	③運動部活動指導員配置事業	0	1,090	0																						
成果と課題	①市民向けのスポーツ教室開催事業 市民が生涯を通して運動習慣を持ち、健康で活力ある生活を送るための一環としてストレッチ教室を開催し運動する機会の提供に努めた。																									
	【健康ストレッチ教室 開催状況】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値：R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>募集人数</td> <td>40人</td> <td>50人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>応募人数</td> <td>39人</td> <td>50人</td> <td>101人</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>45回</td> <td>50回</td> <td>42回</td> </tr> <tr> <td>平均参加人数</td> <td>19人</td> <td>30人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>参加総数</td> <td>870人</td> <td>1,125人</td> <td>1,354人</td> </tr> </tbody> </table> ※R1は、前期・後期の2回開催			年度	R2	目標値	参考値：R1	募集人数	40人	50人	100人	応募人数	39人	50人	101人	開催回数	45回	50回	42回	平均参加人数	19人	30人	32人	参加総数	870人	1,125人
年度	R2	目標値	参考値：R1																							
募集人数	40人	50人	100人																							
応募人数	39人	50人	101人																							
開催回数	45回	50回	42回																							
平均参加人数	19人	30人	32人																							
参加総数	870人	1,125人	1,354人																							
②スポーツ施設の改修・整備事業 社会体育施設が改修・整備されることにより、利用者の利便性や意識の高揚が図られスポーツ活動の活性化及び競技力向上に寄与した。																										
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業年度</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南山屋外運動場夜間照明設備整備事業</td> <td>R1～R2</td> <td>113,924,000円</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	事業年度	事業費	南山屋外運動場夜間照明設備整備事業	R1～R2	113,924,000円																	
事業名	事業年度	事業費																								
南山屋外運動場夜間照明設備整備事業	R1～R2	113,924,000円																								

	<p>③運動部活動指導員配置事業</p> <p>令和元年度より、教職員が生徒と向き合う時間や教材研究等の時間を確保することを目的として、市内中学校5校に1名ずつ部活動指導員を配置している。</p> <p>令和2年8月に行った部活動指導員配置の効果に関するアンケートでは、部活動指導員を配置されている顧問は、「部活動指導時間が縮減されているか」の問いに対して、YES⇒5名、NO⇒1名となっている。また、YESと回答した顧問は「部活動指導時間が縮減された波及効果」として、「時間外勤務の縮減」を5名、「教材研究の時間確保」を4名、「分掌事務の時間確保」を4名「生徒指導や保護者に対応する時間の確保」を4名が挙げている。</p> <p>また、同アンケートにおいて、「部活動指導に係る心的負担軽減」は5名の顧問がYESと回答している。</p>		
<p>総合評価</p>	<p>○</p>	<p>今後の方向性</p>	<p>継続</p>
<p>総合意見</p>	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>スポーツ教室開催事業については、コロナ禍ではありましたが、開催回数や参加人数に一定の成果があったものと思います。また、スポーツ施設の老朽化が進んでいる状況と伺えますが、市民の方々が安心してスポーツライフを楽しめるよう計画的な改修・整備事業に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>部活動指導員の配置により、教職員の負担軽減が図られ、教育相談など指導力の向上につながることを期待しています。</p>		

【評価点検シート 施策No.16】

基本方針	Ⅲ 心の豊かさと感動・元気を生み出す、文化・スポーツ											
政策目標	8 豊かなスポーツライフを実現する環境づくり											
重点施策	(16) 各種スポーツ大会参加への支援											
担当課	市民スポーツ課、学校教育課											
事業・取組内容	①各種大会選手派遣費補助 【市民スポーツ課】 ②県民駅伝競走大会等スポーツ大会派遣事業 【市民スポーツ課】 ③三沢市中学校体育連盟連絡協議会選手出場費補助 【学校教育課】											
主な評価指数	・スポーツ奨励賞等の受賞者数											
事業目的	①各種大会選手派遣費補助金の交付により選手への積極的な支援を行う。 ②各種大会の助成を行い、選手の強化育成及び競技力の向上を図る。 ③中体連負担金及び夏季大会、新人大会の選手輸送バス補助を行い、中学生のスポーツ活動振興に寄与するため。											
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)								
	①各種大会選手派遣補助	7,009	318									
	②県民駅伝競走大会三沢市実行委員会補助	560	0									
	③三沢市中学校体育連盟連絡協議会選手出場費補助	2,600	1,100	0								
成果と課題	① 各種大会選手派遣費補助 児童生徒・社会人・身体障害者の体育・スポーツ活動を促進し、心身ともに健全な人材の育成や競技力の向上を図るため、各種大会選手派遣費に対する補助を実施した。 【選手派遣事業費補助金実績】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値：R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助金額</td> <td>318,000円</td> <td>5,700,000円</td> <td>4,682,000円</td> </tr> </tbody> </table> ② 県民駅伝競走大会等スポーツ大会派遣事業 健全なスポーツの育成とスポーツの振興を図るための事業に対する補助を実施した。 (1) 青森県民駅伝競走大会事業 (H28～R1 まで各 500,000円 ※R2 中止) (2) 北東北親善ゲートボール大会事業 (H28～R1 まで各 200,000円 ※R2 中止)				年度	R2	目標値	参考値：R1	補助金額	318,000円	5,700,000円	4,682,000円
年度	R2	目標値	参考値：R1									
補助金額	318,000円	5,700,000円	4,682,000円									
	③ 三沢市中学校体育連盟連絡協議会選手出場費補助 【令和2年度の概要】 例年は生徒輸送のためのバス借上料補助金として、上北地方中学校体育大会夏季大会に150万円、新人大会に110万円、合計260万円の補助金を交付しているが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため夏季大会が中止となり、新人大											

	会のみ110万円の補助となった。これが、生徒たちの部活動に対する意欲付けの一つとなった。		
総合評価	○	今後の方向性	継続
総合意見	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>コロナ禍において活動が制限されている中、思うようにスポーツ大会が開催されず、補助金等の実績も目標値を下回っておりますが、選手及び父兄の負担軽減を図るためにも、引き続き予算の確保をお願いしたいと思います。</p> <p>コロナが一刻も早く収束し、各スポーツ大会が再び開催され、補助金等の目標値を大きく上回るよう期待します。</p>		

【評価点検シート 施策No.17】

基本方針	IV 安心して学び、多様な力を伸ばす教育基盤の整備																																				
政策目標	9 健康で、依存に負けない習慣づくり																																				
重点施策	(17) 「習慣は第二の天性」推進事業																																				
担当課	学校教育課																																				
事業・取組内容	①「眠育・食育のススメ」推進事業 ②生き生き健康講話事業 ③健康教育研究発表会事業 ④性教育・薬物乱用防止教育推進事業																																				
主な評価指数	・睡眠時間確保率 ・ゲーム・スマホ利用時間																																				
事業目的	①睡眠を軸とした生活習慣指導、食に関する体験的な学習による健康的な生活を実践できる児童生徒の育成の一助とする。 ②夢や志の実現に向けた健康な体づくりについて、専門家の講話により涵養を図る。 ③学校保健に関する諸問題について研究協議を進め、地域ぐるみの保健活動の在り方を研究する。 ④「人格の完成」、「自己管理能力の育成」、「社会課題への適切な対応」を目的とした小中9年間の系統的な生き方教育の一助とする。																																				
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)																																	
	②生き生き健康講話事業	20	20	0																																	
	③健康教育研究発表会事業	100	100	0																																	
成果と課題	<p>①「眠育・食育のススメ」推進事業</p> <p>【令和2年度の概要】</p> <p>全5回の養護教諭部会、全2回の保健主事部会の中で眠育と食育を軸とした望ましい生活習慣指導の推進について周知した。また、「三沢市版すいみんログ」の活用方法について情報を提供するとともに、各校における眠育の取組状況について情報交換を行った。</p> <p>「三沢市版すいみんログ」を通して、各校の健康課題を明らかにでき、学校保健委員会等を活用した生活習慣指導の一助となった。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値: R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">睡眠時間確保率</td> <td>小学校</td> <td>8時間以上</td> <td>64%</td> <td>80%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6~8時間</td> <td>30%</td> <td>20%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>10歳未満 8~10時間</td> <td>中学校</td> <td>6時間以上</td> <td>88%</td> <td>100%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1日のメディア利用時間</td> <td>小学校</td> <td>2時間以内</td> <td>53%</td> <td>100%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>3時間以内</td> <td>78%</td> <td>100%</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				年度		R2	目標値	参考値: R1	睡眠時間確保率	小学校	8時間以上	64%	80%	-		6~8時間	30%	20%	-	10歳未満 8~10時間	中学校	6時間以上	88%	100%	-	1日のメディア利用時間	小学校	2時間以内	53%	100%	-	中学校	3時間以内	78%	100%	-
年度		R2	目標値	参考値: R1																																	
睡眠時間確保率	小学校	8時間以上	64%	80%	-																																
		6~8時間	30%	20%	-																																
10歳未満 8~10時間	中学校	6時間以上	88%	100%	-																																
1日のメディア利用時間	小学校	2時間以内	53%	100%	-																																
	中学校	3時間以内	78%	100%	-																																

・栄養教諭、給食センターの出前授業を含む食育指導の取組状況

R 2	小学校	7校実施（7校中）
	中学校	5校実施（5校中）

②生き生き健康講話事業

【令和2年度の概要】

- ・開催日：令和2年10月15日（木）
- ・会 場：三沢市公会堂
- ・講 師：七戸病院 院長 小野 正人 氏
演題「子どもにとっての眠ること」
- ・対 象：市内小学校6年生（314名）

夢や希望を叶えるための生活習慣づくりにおける睡眠の大切さを学ぶ機会として実施した。

睡眠の効果、スマホ・ゲーム依存や不規則な生活習慣がもたらす健康被害等を中心とした講話であり、現代の子どもたちの抱える健康課題や改善方法について分かりやすく学ぶことができた。

③健康教育研究発表会事業

【令和2年度の概要】

- ・開催日：令和2年12月2日（水）
- ・会 場：岡三沢小学校
- ・講 師：浪岡養護学校 養護教諭 内山陽子氏
- ・演 題：「眠育でいきいき岡小っ子～ぐっすり眠って心も体も元気になろう～」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来賓の人数を制限し、当該校の保護者及び4年生以上を対象に実施した。

岡三沢小学校における「眠育」に関わる実践として、児童の発表による問題提起、すいみんログを行った事後調査結果等を発表し、睡眠の大切さを児童・教職員・保護者で共有する機会となった。

④性教育・薬物乱用防止教育推進事業

【令和2年度の概要】

全5回の養護教諭部会、全2回の保健主事部会の中で性教育年間指導計画の見直しと修正についての協議を行った。

学習指導要領の全面実施に伴い、内容の確認を行うとともに、各校の情報交換を行ったことで、学校における保健指導の円滑な実施を促すことができた。

総合評価	○	今後の方向性	継続
総合意見	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>健康的な生活の実践、健康な体づくりのために新規に計画されたもので、継続してほしいと思います。スマートフォンの所持率が上がっているため、情報モラル指導とともに、睡眠時間の確保や目の健康など、児童生徒の健全な育成に努めていただくようお願いします。</p>		

【評価点検シート 施策No.18】

基本方針	IV 安心して学び、多様な力を伸ばす教育基盤の整備															
政策目標	9 健康で、依存に負けない習慣づくり															
重点施策	(18) 児童生徒の健康の保持・増進															
担当課	学務課、学校給食センター															
事業・取組内容	①児童生徒の健康診断の実施	【学務課】														
	②フッ素洗口事業	【学務課】														
	③食育の推進（出前授業、給食指導、バイキング給食等）	【学校給食センター】														
	④アレルギー対策の推進	【学校給食センター】														
主な評価指数	・出前授業、給食指導、バイキング給食等の実施件数															
事業目的	①児童生徒の健康診断の実施による健康の保持増進のため。 ②児童生徒の虫歯予防対策のため。 ③④給食を通じて、地場製品の活用や地域に関心を寄せる心を育むなど児童生徒が健康で安心して学べる教育環境を整備する。															
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)												
	①児童生徒健康診断	2,356	2,245	0												
	②フッ素洗口	1,466	1,240	0												
	③学校給食センター運営費	373,080	367,033	146,124												
成果と課題	①児童生徒の健康診断の実施 市内小中学校において児童生徒に対し、毎学年健康診断を実施し健康管理に努めている。 ・内科健診、歯科健診、眼科健診、耳鼻科健診、貧血検査、心電図検査、尿検査 ②フッ素洗口事業 「お口の健康から、からだの健康へ」を目指して平成12年度から市内の小中学校の希望者を対象にフッ素洗口を開始し今年度で21年を迎え、12歳児1人平均虫歯の本数の少なさは県内10市で1番である。 <div style="text-align: center;">【フッ素洗口実施率】</div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値: R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>99.1%</td> <td>100%</td> <td>98.9%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>98.3%</td> <td>100%</td> <td>97.8%</td> </tr> </tbody> </table> ③食育の推進（出前授業、給食指導、バイキング給食等） ㊦出前授業 食育の推進を図るため、小学校72回、中学校21回を実施。 ㊧食育指導					R2	目標値	参考値: R1	小学校	99.1%	100%	98.9%	中学校	98.3%	100%	97.8%
	R2	目標値	参考値: R1													
小学校	99.1%	100%	98.9%													
中学校	98.3%	100%	97.8%													

	<p>児童生徒が食生活に関心を持ち、バランスの取れた食事をすることの大切さを理解できるよう、2校を対象に2回実施。(第三中学校、三川目小学校)</p> <p>㊦バイキング給食 食事を自分で選択し、望ましい食生活を営む自己管理能力や、マナーを身に着けることを目的とし計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて考慮した結果、全日程を中止。</p> <p>㊧がんばるメニュー スポーツ大会、受験等、児童生徒にとって大切なイベントを前に、通常1人当りの食材費に対し、100円程度を増額し、特別な給食を提供。今年度は2回実施。</p> <p>④アレルギー対策の推進 ㊦各小学校保護者宛に、新1年生対象に食物アレルギー保有者の調査を実施。 ㊧代替食の提供は、個別包装にある、乳・卵が含まれるデザートのみ実施。 ㊨喫食の判断材料となる、アレルギー付き献立表により情報を提供し、未然事故防止に努めた。</p>		
総合評価	○	今後の方向性	継続
総合意見	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>フッ素洗口実施率も着実に向上し、また健康診断についても、異常の早期発見につなげるなど、確実に健康の維持管理に努められたと思います。</p> <p>学校給食センターについては、食事をすることの大切さなどを理解できるよう出前講座を実施するなど、アレルギー対策等についても学校との情報共有により対策を行うことができたものと思います。引き続き、児童生徒の健康な発育のため、安全で安心な給食の提供をお願いしたいと思います。</p>		

【評価点検シート 施策No.19】

基本方針	IV 安心して学び、多様な力を伸ばす教育基盤の整備																																												
政策目標	10 安全・安心で、質の高い教育環境の充実																																												
重点施策	(19) 安全・安心で快適な教育環境の確保																																												
担当課	教育総務課																																												
事業・取組内容	①施設長寿命化対策等の推進																																												
主な評価指数	・施設点検改善数																																												
事業目的	学校施設の健全を保ち、良好な環境を形成する。																																												
成果を構成する 事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)																																									
	・小学校管理費（業務委託料）	14,154	13,342	0																																									
	・中学校管理費（業務委託料）	8,135	7,436	0																																									
	・小学校営繕事業	5,522	2,694	0																																									
	・中学校営繕事業	14,791	14,724	0																																									
	・小学校施設整備事業																																												
	三沢小学校屋内運動場天井等落下防止対策事業	84,214	96,733																																										
	三川目小学校屋内運動場天井等落下防止対策事業	27,206	29,026																																										
	おおぞら小学校屋内運動場天井等落下防止対策事業	73,291	70,736																																										
	古間木小学校暖房設備改修事業	20,317	18,232																																										
	木崎野小学校屋外トイレ整備事業	27,617	24,389	177,306																																									
・中学校施設整備事業																																													
第二中学校暖房設備改修事業	144,402	120,770	109,469																																										
成果と課題	<p>①施設長寿命化対策等の推進</p> <p>学校施設では、暖房機械清掃点検（年1回）や消防設備保守点検（年2回）、昇降機保守点検（年4回）等の各種点検を行っており、不具合が指摘された設備等においては、計画的に修繕または改修工事を行っている。</p> <p>今後も引き続き点検・改善を行うとともに、学校施設の更新や計画的な改修・予防保全を行うための調査を実施し、長寿命化対策の推進を図る必要がある。</p> <p>R3年度長寿命化改良事業計画は、小学校3校、中学校2校の躯体調査を予定している。</p> <p>【学校施設の点検改善数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">小学校</th> <th colspan="3">中学校</th> </tr> <tr> <th>点検</th> <th>指摘</th> <th>改善</th> <th>点検</th> <th>指摘</th> <th>改善</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>37回</td> <td>13件</td> <td>6件</td> <td>27回</td> <td>13件</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>参考値：R1</td> <td>48回</td> <td>7件</td> <td>0件</td> <td>30回</td> <td>33件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>				区分	小学校			中学校			点検	指摘	改善	点検	指摘	改善	年度							R2	37回	13件	6件	27回	13件	12件	目標値	-	-	-	-	-	-	参考値：R1	48回	7件	0件	30回	33件	2件
区分	小学校			中学校																																									
	点検	指摘	改善	点検	指摘	改善																																							
年度																																													
R2	37回	13件	6件	27回	13件	12件																																							
目標値	-	-	-	-	-	-																																							
参考値：R1	48回	7件	0件	30回	33件	2件																																							

	<p>※点検・指摘件数は、前年度末までに提出された業務報告書を基に算出 ※改善件数は、上記に対して、当該年度に是正予定の件数</p>		
総合評価	○	今後の方向性	継続
総合意見	<p>妥当性があると判断されます。 学校施設の老朽化に伴い、施設の改善等を毎年行っていると思いますが、今後も引き続き長寿命化計画に基づき改善等を行っていただくとともに、児童生徒の安心安全を第一に、より良い環境づくりのために、予算の確保や実施に努めていただきたいと思います。</p>		

【評価点検シート 施策No.20】

基本方針	IV 安心して学び、多様な力を伸ばす教育基盤の整備					
政策目標	10 安全・安心で、質の高い教育環境の充実					
重点施策	(20) 教育費負担軽減などによる学習機会の確保					
担当課	学務課、教育総務課					
事業・取組内容	①要・準要保護学用品費等援助費 【学務課】 ②特別支援教育就学奨励費 【学務課】 ③奨学資金制度の活用 【教育総務課】					
主な評価指数	・奨学金貸付実績					
事業目的	①経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、就学援助費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。 ②特別支援学級に在籍する保護者の経済的負担を軽減するために就学援助費を交付することにより特別支援教育の振興を図る。 ③本市出身の優秀な学生等で経済的理由により修学が困難と認められる者に対し、奨学金を貸し付け、人材の育成を図る。					
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名		R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)	
	・小学校教育振興費					
	①要・準要保護学用品費等援助費		8,175	5,529	0	
	①準要保護学校給食費援助費		15,690	11,968	0	
	②特別支援教育学用品費等奨励費		613	308	492	
	②特別支援教育学校給食費奨励費		1,114	678		
	・中学校教育振興費					
	①要・準要保護学用品費等援助費		13,660	7,826	117	
	①準要保護学校給食費援助費		11,004	7,185	0	
	②特別支援教育学用品費等奨励費		625	434	344	
②特別支援教育学校給食費奨励費		472	255			
・事務局費（奨学資金貸付金）		16,200	12,200	0		
成果と課題	①要・準要保護学用品費等援助費 経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、就学援助費を支給することにより、義務教育の円滑な実施を図った。また、次年度からは審査基準を改め、更なる就学援助の拡大を図る予定である。					
	年度	対象者数		金額		
		小学校	中学校	小学校	中学校	
	R2	303人	174人	5,270,205円	7,491,494円	
	目標値	-	-	-	-	
参考値：R1	322人	185人	7,461,441円	11,120,676円		

②特別支援教育就学奨励費

特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、就学奨励費を支給することにより、特別支援教育の振興を図った。

年 度	対象者数		金 額	
	小学校	中学校	小学校	中学校
R2	34 人	12 人	984,332 円	688,883 円
目標値	-	-	-	-
参考値: R1	42 人	8 人	1,256,206 円	441,931 円

③奨学資金制度の活用

本市出身の優秀な学生等で経済的理由により修学が困難と認められる者に対し、奨学金を貸し付け、人材の育成を図っている。貸付額は、高校等が月額1万円以内、大学等が月額3万円以内、貸付金の返還は、卒業1年後から、貸付額の半額を2倍の月数で返還する。

高等学校授業料無償化や奨学金の他制度が充実してきていることから、当市でも他団体の奨学金制度について情報収集し、時間をかけ、丁寧に検討していく必要があると考える。

【奨学資金貸付状況】

年 度	人 数	金 額
R2	30 人	12,200 千円
目標値	45 人	16,200 千円
参考値: R1	29 人	10,440 千円

※新型コロナウイルス感染症の影響により、修学が困難となった奨学生への支援として、R2年6月分からR3年3月分までの貸付に限り、希望者には、1月につき2万円以内を増額し貸付けた。(希望者:7人、増額:1,400千円)

総合評価	○	今後の方向性	継 続
------	---	--------	-----

総合意見	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>就学援助費等によって保護者の負担軽減が図られ、円滑に義務教育の実施が行われていると思います。</p> <p>奨学資金制度の活用については、予算の許す限り、コロナ対応として令和2年度は増額をしており、今後も状況を見ながら家庭への資料配布、市のHPや広報などでしっかりと周知を図りながら柔軟に対応していただきたいと思います。</p>
------	---

【評価点検シート 施策No.21】

基本方針	IV 安心して学び、多様な力を伸ばす教育基盤の整備			
政策目標	10 安全・安心で、質の高い教育環境の充実			
重点施策	(21) 確かな学力の育成のための教材整備			
担当課	教育総務課			
事業・取組内容	① ICT環境整備の推進 ② 学校教材の充実			
主な評価指数	・ ICT環境整備率 ・ 学校教材整備実績・			
事業目的	学習指導要領に基づく、情報活用能力の育成及び教科の学習目標を達成するため、必要な環境及び教材の整備を図る。			
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)
	①小学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業	0	77,964	37,937
	①小学校情報機器整備事業	0	129,657	128,811
	①中学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業	0	42,169	20,052
	①中学校情報機器整備事業	0	64,530	64,445
	②小学校教育振興費(学校関係備品)	6,593	6,241	344
	②中学校教育振興費(学校関係備品)	7,783	7,783	699
成果と課題	① ICT環境整備の推進			
	<p>国の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018~2022)」や「GIGAスクール構想」で掲げられた整備目標を達成するため、令和2年度は国の補助金を活用し、校内無線LAN、学習タブレット、大型提示装置の整備が完了する見込みである。今後は、ICT支援業務や校務支援システムの整備に向けて、事業を継続していく必要がある。</p>			
	【ICT環境の整備率】			
	整備目標	区分	R2	目標値 参考値：R1
	校内無線LAN (全校)	小学校	100% (7校)	100% 0%
		中学校	100% (5校)	100% 0%
	学習タブレット (1人1台)	小学校	100% (2,177台)	100% 1% (17台)
		中学校	100% (1,168台)	100% 1% (17台)
	大型提示装置 (各普通教室1台とし、小学校78台、中学校37台)	小学校	100% (42台)	100% 46% (36台)
		中学校	100% (16台)	100% 56% (21台)
ICT支援員 (4校に1人)	小中学校	33% (1人)	100% 0%	

②学校教材の充実

令和元年度に学校図書館における管理・運用の効率化を図るため、各小中学校へパソコン及び周辺機器を整備した。(購入費：3,142,800円)

平成28年度には、小中学校図書の本数充足率が94.7%であったが、令和2年度には、107.8%となり徐々に成果が上がってきた。

今後も、学校図書館法の規定に基づく図書の整備は、学校教育において、基礎的な設備であり、児童生徒の情報の収集・選択・活用能力の育成を図るため、計画的・継続的に整備していく必要がある。

【学校図書整備状況及び充足状況】

年 度	項 目	小学校	中学校	総 数
R2	標準冊数	56,960冊	46,480冊	103,440冊
	蔵書冊数	59,893冊	51,564冊	111,457冊
	充足率	105.1%	110.9%	107.8%
	決算額	2,896千円	2,500千円	5,396千円
目標値	標準冊数	学級数により変動		-
	蔵書冊数	-	-	-
	充足率	100%以上	100%以上	100%以上
	予算額	2,600千円	2,500千円	5,100千円
参考値 R1	標準冊数	57,480冊	47,040冊	104,520冊
	蔵書冊数	57,408冊	54,328冊	111,736冊
	充足率	99.9%	115.5%	106.9%
	決算額	2,900千円	2,500千円	5,400千円

【その他小学校教材備品】

年 度	実績額	主な内容
R2	123,819千円 (うちGIGAスクール関係 117,578千円)	理科備品一式 759千円
		液晶テレビ5台 946千円
		プログラミング教材一式 1,252千円
		英語教材一式 462千円
		タブレット端末2,177台 95,548千円
		液晶テレビ42台 9,656千円
		その他 12,374千円
目標値	-	文部科学省の教材整備指針に基づく
参考値 R1	5,410千円	理科備品一式 552千円
		液晶テレビ6台 966千円
		上久保小学校 ICT 機器一式 1,350千円

	【その他中学校教材備品】			
	年 度	実績額	主な内容	
	R2	64,909 千円 (うち GIGA スクール関係 57,126 千円)	理科備品一式	1,544 千円
			堀口中学校楽器一式	2,277 千円
			タブレット端末 1,168 台	51,264 千円
液晶テレビ 16 台			3,678 千円	
		その他	2,184 千円	
目標値	-	文部科学省の教材整備指針に基づく		
参考値 R1	7,964 千円	理科備品一式	226 千円	
		液晶テレビ 3 台	414 千円	
		第一中学校 I C T 機器一式	1,344 千円	
総合評価	○	今後の方向性	継 続	
総合意見	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>I C T 環境整備については、令和 2 年度にタブレット等の整備が完了し、今後はスムーズに運用するほか、学校によって教育水準に差がでないように、I C T 支援員等の十分な人数確保を行っていただきたいと思ひます。</p> <p>また、学校教材については、学校からの要望を満たしているものと思ひます。</p>			

【評価点検シート 施策No.22】

基本方針	IV 安心して学び、多様な力を伸ばす教育基盤の整備											
政策目標	10 安全・安心で、質の高い教育環境の充実											
重点施策	(22) 教育力向上のための人的支援											
担当課	学務課											
事業・取組内容	①学校教育支援員設置事業 ②学校司書派遣事業											
主な評価指数	・学校教育支援員の配置人数 ・学校司書の派遣人数											
事業目的	①学校の教育力向上のための人的支援として学校教育支援員を配置する。 ②学校図書館運営の改善及び向上を図るために学校司書を派遣する。											
成果を構成する事務事業 (単位：千円)	事業名	R2 当初予算	R2 決算	(うち特定財源)								
	・学校教育支援員任用	65,536	58,887	-								
	・学校司書任用	5,776	7,344	-								
成果と課題	<p>①学校教育支援員設置事業</p> <p>児童生徒への支援、教師への支援、学校全体への支援を目的とし、市内小中学校の実態に応じて学校教育支援員を配置したことにより、教育力の向上に努めることができた。</p> <table border="1" data-bbox="603 1133 1232 1234"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値：R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置人数</td> <td>60人</td> <td>60人</td> <td>54人</td> </tr> </tbody> </table>				年度	R2	目標値	参考値：R1	配置人数	60人	60人	54人
	年度	R2	目標値	参考値：R1								
配置人数	60人	60人	54人									
<p>②学校司書派遣事業</p> <p>市内小中学校の学校図書館運営の改善及び向上を図るとともに、児童生徒の読書意欲の向上や情報活用能力の育成に寄与することを目的として学校司書を派遣し、学校図書館運営の向上、児童生徒の育成が図られた。</p> <table border="1" data-bbox="400 1523 1433 1718"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>目標値</th> <th>参考値：R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣人数</td> <td>3人 (1人当たり4校)</td> <td>3人 (1人当たり4校)</td> <td>2人 (1人当たり4校、派遣できない学校あり)</td> </tr> </tbody> </table>				年度	R2	目標値	参考値：R1	派遣人数	3人 (1人当たり4校)	3人 (1人当たり4校)	2人 (1人当たり4校、派遣できない学校あり)	
年度	R2	目標値	参考値：R1									
派遣人数	3人 (1人当たり4校)	3人 (1人当たり4校)	2人 (1人当たり4校、派遣できない学校あり)									
総合評価	○	今後の方向性	継続									
総合意見	<p>妥当性があると判断されます。</p> <p>特別な支援を要する児童生徒の支援に対応する人員である目標値の60人を確保できたことで、学校現場における基盤の強化に繋がり、また、司書も1人増員とな</p>											

	<p>ったことで、全校に派遣することができたものと思います。 教職員の負担軽減のためにも、今後も予算や人材の確保を行っていただきたいと思 います。</p>
--	---

